コミュニティデザイン科　里山・GL コース　シラバス目次

必履修科目

課題研究	里山コース	10-08	ｐ．２
課題研究	GL コース	10-09	ｐ．３

２年次科目

総合実習	里山コース	14-01	ｐ．４
森林科学	里山コース	14-02	ｐ．５
測量	里山コース	14-03	ｐ．６
総合実習	GL コース	14-04	ｐ．７
グリーンライフ	GL コース	14-05	ｐ．８
地域と課題	GL コース	14-06	ｐ．９

３年次科目

総合実習	里山コース	14-07	ｐ．１０
林産物利用	里山コース	14-08	ｐ．１１
水循環	里山コース	14-09	ｐ．１２
造園計画	里山コース	14-10	ｐ．１３
総合実習	GL コース	14-11	ｐ．１４
食品流通	GL コース	14-12	ｐ．１５
伊那谷探究	GL コース	14-13	ｐ．１６
農業情報処理活用	GL コース	14-14	ｐ．１７

科目名	課題研究	単位数	３単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　３学年　里山コース	予定時数	105

１　学習目標

森林・造園土木について自らテーマを設定し、探究的な学習を通し科学的思考力と課題解決能力を育成し、専門科目に関する知識と技術をより深め、各分野で活用するより実践的能力と態度を育てる。

２　指導の重点

①　より専門性を探求できるテーマの設定　　②課題解決へ向けたより科学的な手段をとることができる。　　③得られた成果を正確に分析し、他に伝えることができる。

３、学　習　内　容

【１学期】 １　課題研究の概要 　目標と学習の進め方 ２　テーマ設定 ３　研究の立案と実施 　研究調査・製作を立案し実施する 【２学期】 ４　まとめ、 　研究調査のデータ処理とまとめ 　製作の完成 【３学期】 ５　レポート・プレゼンテーションの作成 　評価・反省、 レポート完成・発表	テーマ具体例 　林産物生産（炭の生産、きのこの生産） 　庭園製作（日本庭園・垣根・ビオトープ池） 　木工製作（巣箱、間伐材利用の工芸や家具） 　構造物研究（ログ利用の東屋など） 　測量・GIS 　低負荷工法・伝統工法 　緑化工法 　防災 他 　和紙の生産 　石けんの生産 　樹木についての研究　挿し木、実生など

教科書	
副教材	
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	森林・造園・土木について興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。実習の服装・身なりがきちんとできている。
思考・判断・表現	専門に関わる知識と技術を基に、課題解決に向けた取り組みができる。
技能	基礎的・基本的な技術を用いて、活動を合理的に計画し実施している。
知識・理解	テーマに沿ったの特性や働きを理解できる。 数々の実習の目的や方法について理解している。

科目名	課題研究	単位数	３単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　３学年　GL コース	予定時数	１０５

１　学習目標

伊那谷地域の課題や地域の暮らしや食文化の学びを通じ、自らテーマを設定し、探究的な学習を通し科学的思考力と課題解決能力を育成し、専門科目に関する知識と技術をより深め、各分野で活用するより実践的能力と態度を育む。

２　指導の重点

２年生までの学習を踏まえ、伊那谷地域の課題や暮らし、食文化を知ることで、各自のテーマを設定し、より科学的視点から課題解決の方法を探求し、課題解決の力を養う。

３、学　習　内　容

【１学期】	【２学期】
（１）　課題やテーマの設定 （２）　実施計画の立案 （３）　研究の準備や事前学習、実践	（１）　研究活動の実践 （２）　データーも解析とまとめ 【３学期】 （１）　発表会の準備 （２）　発表会の実施

教科書	
副教材	
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	伊那谷地域の課題に関心を高め、その重要性を認識し、地域活性化への関わりを意識したテーマ設定であるか。
思考・判断・表現	具体的解決のための取り組みの中で、科学的な視点で課題解決の方法が探求されているか。
技能	コミュニケーションの基本的な技術を身に付け、計画を立て、技術を活用できるか。
知識・理解	地域プロジェクト学習の意義や役割を理解している。

科目名	総合実習　里山	単位数	5単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　2学年　里山コース	予定時間	175

1　学習目標

造園技能検定3級の取得を目指し、実習を通し、より専門科目に興味関心を持てる。また、社会人として望まれる態度と資質を養う。

2　指導の重点

①あいさつ、返事をしっかりする。実習中の服装や態度を正しく。

①　基本的生活習慣の確立。　時間を守る・・・遅刻や早退をしない。

②　造園技能の習得と。施工管理の知識を習得し、技能検定３級の合格を目指す。

④実習を通じて協力・助け合いの精神を学ぶ。

3　学習内容

【１学期】

1　造園技能検定３級

(1)　実技

(2)　樹木(判断)

(3)　学科試験

【２学期】

2　伐木造材

(1)チェーンソーの基本操作

(2)伐木・造材の実際(間伐)

３庭園設計の実際

(1)　緑化計画

(2)　住宅庭園設計

(3)　庭園のパース

(4)　庭園施工費の策定

【３学期】

4　造園施工と管理

(1)　施工の手順・方法

(2)　安全管理・品質管理

(3)　施工に関わる法規

(4)　測量・設計図書

教科書	造園計画、森林科学
副教材	
備　考	

4、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	造園や森林について興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。 実習の態度がきちんとできている。
思考・判断・表現	造園・チェーンそほ一関わる知識と技術を基に、実際の施工・施業に向けた取り組みができる。
技能	基礎的・基本的な技術を用いて、活動を合理的に計画し実施している。
知識・理解	造園の技術やチェーンソーの操作を理解できる。 数々の実習の目的や方法について理解している。

科目名	森林科学	単位数	３単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　２学年　里山コース	予定時数	105

１　学習目標

森林の育成と環境の保全についての体験的・探究的な学習を通して森林及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、森林及び環境管理に関する基礎的な知識と技術を習得させ、各分野で活用する能力と態度を育てる。

２　指導の重点

③ 森林の基礎的知識と育成する技術に関心を持たせる。　② 実習を通じて基本的育成技術を習得させるとともに興味関心を高揚させる。　③災害を回避する知識と技術を学び関心を持つ。

３、学　習　内　容

【１学期】
１　森林の基礎
(1)森林の役割・機能・特徴
(2)生態系概論・植生遷移
(3)森林帯(世界の森林・日本の森林)
３　樹木学
４　林木の生育と環境
(1)繁殖の方法(実生苗と挿し木苗の生産)
(2)森林土壌
(3)環境因子(気象・土地・生物)
【２学期】
５　育林と造林
(1)育林の意義
(2)森林の更新（人口更新、天然更新）
(3)森林保育（下刈り～間伐）
６　伐木造材実習
(!)チェーンソーの構造と操作、整備
(2)伐木造材の理論
７　森林の計測
(1) 立木測定・森林計測
(2)材積計算
(3)林木の評価
【３学期】
８　地球環境と人間
９　治山、治水
(1)山地災害
(2)砂防の実際
１０　森林・林業の現状と課題
１１ 環境論　地域の環境～地球環境

教科書	森林科学（実教出版）
副教材	
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	森林について興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。 実習の服装・身なりがきちんとできている。
思考・判断・表現	森林に関わる知識と技術を基に、課題解決に向けた取り組みができる。
技能	基礎的・基本的な技術を用いて、活動を合理的に計画し実施している。
知識・理解	森林の特性や働きを理解できる。数々の実習の目的や方法について理解している。

科目名	測　量	単位数	３単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　２学年　里山コース	予定時数	105

１　学習目標

測量の必要性と基礎的技術ついての体験的・探究的な学習を通して測量に関する学習について興味・関心を高めるとともに、測量に関する基礎的な知識と技術を習得させ、各分野で活用する能力と態度を育てる。

２　指導の重点

①　測量の必要性とその応用範囲について認識させ、興味関心を持たせる。

②　各分野の基本的技術と処理の手段を身に着けさせる。

３、学　習　内　容

【１学期】

１測量をまなぶにあたって

(1) 測量とは

２　細部測量（平板測量）

(1)　平板測量

①　平板測量の器具

②　平板測量の方法と実際

③　平板測量の製図

【２学期】

３　水準測量

(1)　レベルによる水準測量

①縦断測量　②水準測量の誤差

(2) 縦断測量の製図（縦断図の作成）

(3) 横断測量

２　トラバース測量

(1) トラバース測量の概要

(2) トラバース測量の外業

(3) トラバース測量の内業

(4) 製図

【３学期】

１　ＧＩＳ（地理情報システム）

２　空中写真測量とリモートセンシング

ｷｮｳｶｼｮ	測量（実教出版）
副教材	自主教材
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	測量について興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。 実習の服装・身なりがきちんとできている。
思考・判断・表現	測量に関わる知識と技術を基に、課題解決に向けた取り組みができる。
技能	基礎的・基本的な技術を用いて、活動を合理的に計画し実施している。
知識・理解	測量の特性や必要性を理解できる。 数々の実習の目的や方法について理解し、基本的技術を習得させる。

総合実習の単位のうち１単位は時間外に設定されている。

科目名	総合実習　ＧＬ	単位数	１単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　２学年　ＧＬコース	予定時数	３５

１　学習目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、地域農業の改善を図る実践的な能力をと態度を学ぶ。

２　指導の重点

伊那谷地域の農業を体験的に学ぶ中で、地域資源の活用方法や地元関連産業や大学との連携を踏まえながら、企画力や管理能力を育てる。

３、学　習　内　容

【１学期】

（１）　伊那谷の地域資源の探究

（２）　伊那谷の観光の魅力探究

（３）　伊那谷の食文化探究

（４）　学校農業クラブ活動

【２学期】

（１）　企業との連携

（２）　大学や商店街との連携

【３学期】

（１）　取り組みのまとめ

（２）　地域や企業、大学との情報交換

教科書	
副教材	
備　考	

項目	内　　容
関心・意欲・態度	地域農業や地域資源に興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。　実習の服装・身なりがきちんとできている。
思考・判断・表現	地域農業や地域資源に関わる知識と技術を基に、課題解決に向けた取り組みができる。
技能	基礎的・基本的な技術を用いて、活動を合理的に計画し実施している。
知識・理解	地域農業や地域資源に特性や働きを理解できる。

科目名	グリーンライフ	単位数	２単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　２学年　ＧＬコース	予定時数	７０

１　学習目標

伊那谷地域の暮らしを見直し、地域資源の発見や有効的な活用方法を理解させると共に、地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を育てる。

２　指導の重点

地域資源の発見・保全・活用に重点をおきながら、高校生の視点から地域の活性化のための方策を探り、地域と協働した実践的体験を通して「人間力」の向上を図る。

３、学　習　内　容

【１学期】

（１）　自己理解の学習

（２）　外部講師等による聞くスキル、話すスキルの学習

（３）　地域探求の具体的計画の立案および方法の検討

【２学期】

（１）　地域人材の選定

（２）　レポーターとしての事前学習

（３）　レポートの実践

【３学期】

（１）　レポートのまとめ方の学習

（２）　グループワークによる情報共有

教科書	グリーンライフ（実教）
副教材	
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	地域社会、地域資源に関心を持ち、その重要性を認識し、授業に意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身につけている。
思考・判断・表現	地域資源を生かした地域活性化について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技能を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。
技能	グリーンライフ活動に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、その成果を的確に表現する。
知識・理解	地域社会、地域農業の理解に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。

科目名	地域と課題	単位数	４単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　２学年　ＧＬコース	予定時数	１４０

１　学習目標

伊那谷地域の課題を設定し、その解決を図る学習を通して、探求心と実践力を養い、課題解決のための能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

２　指導の重点

言語活動を充実させるため、グループワークを中心とした、「対話」と発表する機会を設ける。また、伊那谷地域における課題の解決方法に結びつけ、地域の活性化を図りながら、グループから個々の生徒の学習進度や学習方法を尊重し、計画的な学習指導を行う。

３、学　習　内　容

【１学期】

（１）　伊那谷地域の課題設定

（２）　解決のための事前学習

（３）　地域住民、外部機関、大学、企業との連携を含めた計画の立案

【２学期】

（１）　計画的に沿った実践的学習の展開

（２）　学校農業クラブ活動

【３学期】

（１）　実践の報告のまとめ、発表方法の学習

（２）　発表会の準備、実施

教科書	
副教材	
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	伊那谷地域の課題に関心を高め、その重要性を認識し、地域活性化への関わりを意識しているか。
思考・判断・表現	具体的解決のための取り組みの中で、人との対話や自らの気持ちを分かりやすく伝えようとする姿勢見られるか。
技能	コミュニケーションの基本的な技術を身に付け、計画を立て、技術を活用できるか。
知識・理解	地域プロジェクト学習の意義や役割を理解している。

科目名	総合実習　里山	単位数	4単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　3学年　里山コース	予定時数	105

1　学習目標

林産物の育成と森林環境の保全、庭園の整備についての体験的・探究的な学習を通して専門に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、専門科目に関するより深い知識と技術を習得させ、各分野で活用する能力と態度を育てる。

2　指導の重点

①　様々な林産物の生産に関わり、興味関心を持つことができる。　②庭園と森林管理の総合的技術を習得する。　③コンクリートの基礎的知識と技術を習得する。　④資格を取得する。

3、学　習　内　容

【年　間】

1　林産物利用
(1) 製炭実習
(2) 製紙実習
(3) キノコ生産

2　庭園・圃場管理
(1) 刈り込み
(2) 整枝その他基本的な庭園管理
(3) 庭園施工

3　演習林実習
(1) 森林保育技術の習得
(2) 土木・測量技術の習得

4　コンクリート施工
(1) 材料実験
(2) コンクリート実験
(3) 施工・管理

5　資格取得
フォークリフト

教科書	林産物利用、造園計画、森林科学
副教材	
備　考	

4、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	森林・造園・土木について興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。　実習の服装・身なりがきちんとできている。
思考・判断・表現	森林・造園・土木に関わる知識と技術を基に、課題解決に向けた取り組みができる。
技能	基礎的・基本的な技術を用いて、活動を合理的に計画し実施している。
知識・理解	森林・造園・土木の特性や働きを理解できる。 数々の実習の目的や方法について理解している。

科目名	林産物利用	単位数	２単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　３学年　里山コース	予定時数	70

１　学習目標

木材をはじめとする林産物に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、木材及び関連産業に関する基礎的な知識と技術を習得させ、各分野で活用する能力と態度を育てる。

２　指導の重点

①　木材の基礎知識を習得する。　②山菜、キノコなどの生産技術を知る。

②　林産物の加工技術を学び、実際に加工・製作する。

３、学　習　内　容

【１学期】

１　木材の基礎

(1) 木材の構造と区別

(2) 木材の性質

(3) 木材の被害

【２学期】

２　林産物の生産

(1)　キノコ

(2) 山菜

(3) 紙

３　林産物の加工

(1) 作品の設計

【３学期】

(2) 加工・製作

(3) 流通と販売

(4) まとめ

教科書	（実教出版）著作者　　農業３２５
副教材	
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	木材・林産物について興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。 実習の服装・身なりがきちんとできている。
思考・判断・表現	木材・林産物に関わる知識と技術を基に、課題解決に向けた取り組みができる。
技能	基礎的・基本的な技術を用いて、活動を合理的に計画し実施している。
知識・理解	木材・林産物の特性や働きを理解できる。 数々の実習の目的や方法について理解している。

科目名	水循環	単位数	2単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　3学年　里山コース	予定時数	70

1　学習目標

水の環境についての体験的・探究的な学習を通して水環境と利用、防災に関する学習について興味・関心を高めるとともに、水環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、多くの分野で活用する能力と態度を育てる。

2　指導の重点

①　水の理学的性質を理解させる。　②地球レベル・地域レベルでの水の循環と利用について学ぶ。　③農業土木と防災面での具体的施工技術を学ぶ

3、学　習　内　容

【1学期】

1　水理学基礎

(1)静水

(2)流水

(3)　水理学の利用

2　水循環

(1)地球レベルから地域レベルでの水の動き

(2)　人が管理する水

【2学期】

3　農業土木の施工

(1) 土工

(2)コンクリート

(3)工事を実施するための準備（丁張り）

(4)掘削と運搬（機械）

(5)植栽工

【3学期】

3　工事の管理

(1)工事の運営組織

(2)工程管理

(3)品質管理

(4)安全管理

4　土木関係法規

(1) 労働基準法

(2) 労働衛生法

(3) 建設業法

(4)環境保全関連法規

教科書	（実教出版）水循環
副教材	
備　考	

4、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	水理、土木施工ついて興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。
思考・判断・表現	水理、土木施工に関わる知識と技術を基に、課題解決に向けた取り組みができる。
技能	基礎的・基本的な技術を用いて、活動を合理的に計画し実施している。
知識・理解	水の特性や働きを理解できる。 土木施工の目的や方法について理解している。

科目名	造園計画	単位数	2単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　3学年　里山コース	予定時数	70

1　学習目標

庭園計画と環境の造成についての体験的な学習を通して興味・関心を高めるとともに、造園の必要性と計画・施工の流れを理解し、造園及び環境形成に関する基礎的な知識と技術を習得させ、知識緑化の分野で活用する能力と態度を育てる。

2　指導の重点

①　造園計画の必要性と庭園の様式と歴史を知る。　②　造園材料を知り、その施工と管理を行うことができる。　③庭園の設計と施工計画を立案できる。

3、学　習　内　容

【1学期】

1　庭園の管理

(1) 樹木の管理（剪定、刈り込み、病虫害防除、
根回し、植え付け）

(2) その他の植物の管理

2　造園計画の意義と緑地環境の役割

(1) 生活と緑地環境

(2) 造園計画と造園

【2学期】

3　空間環境と造園の様式

(1) 日本の環境と造園様式

(2) 外国の環境と造園様式

4　造園材料

(1) 石材

(2) 植物

(3) 垣根

(4) 木材

(5) その他の造園材料

【3学期】

5　庭園設計

(1) 庭園のコンセプト

(2) 地割りとディティール

(3) 平面図設計

(4) 鳥瞰図

教科書	造園計画（海文堂）
副教材	造園技術（電機大）、葉でわかる樹木（信濃毎日新聞社）
備　考	

4、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	造園について興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。 設計・施工・管理に対する積極的な態度がある。
思考・判断・表現	庭園に関わる知識と技術を基に、設計・施工に向けた取り組みができる。
技能	基礎的・基本的な技術を用いて、活動を合理的に計画し実施している。
知識・理解	造園の特性や働きを理解できる。 数々の実習の目的や方法について理解している。

科目名	総合実習　ＧＬ	単位数	４単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　３学年　ＧＬコース	予定時数	１４０

1　学習目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、地域農業の改善を図る実践的な能力をと態度を学ぶ。

2　指導の重点

伊那谷地域の農業を体験的に学ぶ中で、地域資源の活用方法や地元関連産業や大学との連携を踏まえながら、企画力や管理能力を育てる。

3、学　習　内　容

【１学期】
（５）　伊那谷の地域資源
（６）　伊那谷の農業
（７）　クロモジや薬草の活用
（８）　学校農業クラブ活動

【２学期】
（３）　企業との連携
（４）　大学との連携

【３学期】
（３）　取り組みのまとめ
（４）　地域や企業、大学との情報交換

教科書	
副教材	
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	地域農業や地域資源に興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。実習の服装・身なりがきちんとできている。
思考・判断・表現	地域農業や地域資源に関わる知識と技術を基に、課題解決に向けた取り組みができる。
技能	基礎的・基本的な技術を用いて、活動を合理的に計画し実施している。
知識・理解	地域農業や地域資源に特性や働きを理解できる。

科目名	食品流通	単位数	２単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　３学年　ＧＬコース	予定時数	７０

１　学習目標

農産物や加工品の原料となる食品の流通に必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と流通構造を理解させるとともに、食品の流通と管理の合理化を図る能力と態度を育てる。

２　指導の重点

伊那谷地域の具体的な事例で実践的・体験的に学び、食品の特性と構造を理解させると共に、高校生の視点で、商品開発や起業的な活動も取り入れながら、地域食材についての学びを深めさせる。

３、学　習　内　容

【１学期】

食品流通のしくみと働き

（１）　食品流通の特徴

（２）　食品流通のしくみ

（３）　価格形成と流通経費

食品の品質と規格

（１）　食品の品質と安全性

（２）　品質と品質保証

（３）　規格、表示と検査

【２学期】

食品マーケティング

（１）食品市場の調査

（２）マーケティングの意味と発展

（３）マーケティング戦略の手法

（４）食品マーケティングの実際

【３学期】

（１）　伊那谷の伝統野菜についての学習

（２）　昆虫食の歴史と現状

（３）　加工品商品化の考案

教科書	食品流通（実教）
副教材	
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	食品製造・食品衛生に関心を持ち、その重要性を認識し、授業に意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	食品流通と食品産業について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技能を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。
技能	食品製造に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、その成果を的確に表現する。
知識・理解	食品製造・食品衛生に関する基礎的・基本的な知識を理解している。

科目名	伊那谷探究	単位数	２単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　３学年　ＧＬコース	予定時数	７０

１　学習目標

伊那谷の食文化や伝統文化や暮らしを探求的に学ぶことで、地域の姿や課題を発見し、自らの知識と行動でどんなことができ、地域とどう関わっていくかを学ぶ。

２　指導の重点

長野県の産業や食文化を学ぶことで、伊那谷地域の特色ある暮らしや地域性を探求し、グループワークを通じた課題発見と地域と関われる実践力を養う。更には、伊那谷地域の「観光」にも目を向け、探求を深めさせる。

３、学　習　内　容

【１学期】

長野県を知る

（１）　長野県の自然

（２）　長野県の歴史

（３）　地理的特性

（４）　産業や食文化

【２学期】

伊那谷における産業や食文化

（１）　伊那谷の歴史

（２）　伊那谷の地理的特徴

（３）　伊那谷の産業や食文化

（４）　随時野外調査を含む

【３学期】

（１）　伊那谷の観光についての学び

（２）　伊那谷観光マップの作製

（３）　マップの宣伝方法についての学習

教科書	
副教材	わたしたちの信州学（長野県教育委員会） 伊那市郷土学習読本「わたしたちのふるさと」（伊那市教育委員会）
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	伊那谷地域の暮らしや、地域資源に関心を持ち、その重要性を認識し、授業に意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身につけている。
思考・判断・表現	伊那谷地域の地域活性化や観光について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技能を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。
技能	長野県や伊那谷地域の探求方法の技術を身に付け、その成果を的確に表現する。
知識・理解	長野県や伊那谷地域の食文化や観光についての学びを深め、理解している。

科目名	農業情報処理活用	単位数	２単位
学科・学年・コース	農業　コミュニティデザイン科　３学年　ＧＬコース	予定時数	７０

１　学習目標

農業教科のまとめとして、今まで取り組んできた農業学習をまとめ表現させる技術を身に着け、学校や地域の文化や資源を調査して表現することで知識の共有と深化を図る。

２　指導の重点

１、　取材活動やデーター収集の技術や体験を通じて身に着ける。

２、　画像の撮影やスキャナでの取り込み技術を身に着ける。

３、　プレゼンテーションソフトを使った編集技術を身に着ける。

４、　プレゼンテーションを校内や地域に向けて行い、プレゼンテーション能力を身に着けるとともに他者に評価アドバイスをもらうことで技能向上と社会性を身につける。

３、学　習　内　容

【１学期】

（１）　プレゼンテーションソフトの理解

（２）　プレゼンテーション検定への取り組み

（３）　学校紹介プレゼンテーション作成のための取材活動

【２学期】

（１）　学校紹介プレゼンテーション作成

（２）　発表会と文化祭展示

（３）　地域紹介プレゼンテーションのための取材活動

（４）　画像編集

【３学期】

（１）　発表会の準備

（２）　発表会の実施

教科書	農業情報処理　実教出版
副教材	
備　考	

４、評価について

項目	内　　容
関心・意欲・態度	農業や地域の課題に関心を高め、地域活性化へ意欲をもって取材やまとめプレゼンテーションを行うことができるか。
思考・判断・表現	具体的解決のための取り組みの中で、科学的な視点で課題解決の方法が探求されているか。
技能	コミュニケーションの基本的な技術を身に付け、計画を立て、技術を活用できるか。
知識・理解	文書・画像編集やプレゼンテーションソフトの利用を理解しているか。